

適正利用・エコツーリズム検討会議の今後のあり方について (案)

【経緯】

平成 22 年度 世界遺産委員会からの勧告等への対応のため検討会議を開催。

「知床エコツーリズム戦略」の策定が主要議題。

平成 24 年度末 戦略を策定。

※今後の検討会議のあり方についての再検討が必要。

【想定される主要な議題】

今後は戦略に基づく議論の仕組みを適正に運用していくことが基本。想定される主要な議題は以下の通り。

- ① 地域関係団体等から出された提案の審査及び承認
- ② 部会での提案に関する検討状況の報告
- ③ 承認された提案後に行われる事業の進捗状況の報告
- ④ 各種モニタリング結果の評価
- ⑤ その他（必要に応じて他の事例の紹介 等）

【検討会議のあり方】

① 構成

今後の議論は部会が中心になって行うことが想定されるため、以下の方針で検討会議のあり方を変更。

- ・現在の検討会議の委員を「委員」と「専門委員」にわけると。検討会議には委員のみが参加。専門委員はそれぞれの専門分野に関連する部会が設置された場合のみ、検討会議及び部会に参加。
- ・今後、主体的にエコツーリズムに取り組むことが期待されない、各漁業協同組合、開発局、運輸支局、海上保安署、北海道警察については、各団体の意向を確認したうえで、構成員から除外（ただし、必要に応じて参加を依頼）。

② 開催頻度

検討会議は提案に基づき議論するため、今後は提案の提出状況に応じて年 1～2 回の開催を基本とする。

※ その他 必要な検討事項
会議の進行